

## 滝乃川学園放課後等デイサービス支援プログラム

令和6年度より5領域(「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」との繋がりを明確化した支援プログラムの作成と公表が求められることとなりました。滝乃川学園放課後等デイサービスでは支援プログラムを作成し、活動を行ってまいります。

### 「健康・生活」

検温や手洗い、手指消毒等の健康管理や体調の把握に努めます。排泄や食事等の日常動作でできることを増やし、身辺自立に繋がる支援に取り組みます。私物整理を通して自分の物と他者の物との区別がつけられるように支援します。日用品や玩具の片付け等、日常生活に活用できることを目指した支援の提供や補助を行います。

### 「運動・感覚」

ブランコやシーソー、トランポリン、散歩等、体全体を使う活動により、体のバランスや体をコントロールする力を養い、粗大運動の発達を促します。パズルや知育玩具遊び、工作道具を扱う活動等から手指の微細運動の習得を目指します。果物や野菜の収穫体験等で食育を意識し、川遊び等で自然や季節を感じる活動に取り組む等、経験を増やして感情や情緒を育むことに努めます。

### 「認知・行動」

SST(ソーシャルスキルトレーニング)を日常生活に取り入れ、挨拶やマナーが身につけられるように努めます。工作遊びやおやつ作り、知育玩具遊び、日常動作、個別課題等を通して様々な認知機能への働きかけを行い、伸ばしていきます。利用児が落ち着いた行動、適切な行動となるような支援や環境設定を行っていきます。

### 「言語・コミュニケーション」

日常的な挨拶、言葉かけを大切にし、言葉への理解や言語表出が進むような支援に努めます。絵カードや写真カード、マカトンサイン、ハンドサイン等、利用児1人1人の状態に合わせたコミュニケーション方法を工夫します。スタッフと視線を合わせる練習をしたり、具体的でわかりやすい情報提供をしたりすることにより受容コミュニケーション力が高まることを目指します。

## 「人間関係・社会性」

ごっこ遊びや集団遊び等を通して他者との気持ちの良いやりとりが身につくような支援を行います。地域の公園や公共施設等へ出かけ、社会でのルールやマナーの理解が高まるような支援を行います。心理療法を通して利用児1人1人の将来を見据えた社会性の高め方や感情のコントロール方法を模索します。



提供している活動は5領域に相互に関連したり重なったりしており、5領域を組み合わせた以下のイメージでの活動提供を行っています。

5領域 活動	健康・生活	運動・感覚	認知・行動	言語・コミュ ニケーション	人間関係・ 社会性
始まりの会	○			○	○
おやつ作り	○	○	○		
工作遊び	○	○	○		
読み聞かせ			○	○	○
園庭遊び	○	○			○
集団遊び		○	○	○	○
個別課題		○	○	○	○
地域への外出	○	○	○		○
収穫体験	○	○	○		○
季節のイベント	○	○	○		○
心理療法			○	○	○

